

音声記録（抜粋 1）の反訳

録音日：2023(R5)1003

反訳者：野村一也（請求人）

[野村]

あれ、何でしたっけ、駐車公園。少なくとも前回まで、家はちょっと置いていて、いろいろ僕は言いたいことがあるけど、置いていて。駐車場については町のモノ。そこに、コンテナを置いたり、放置状態のクルマを置いてあったりというのは、もちろん、住居に行くための駐車も含めてですよ。24 時間を超えて、停めることに対して、あなた方は注意したんですか？

[坂野]

はい。

[野村]

いつ？あなたがしたんですか？

[坂野]

そうです。

[野村]

本当に？日本語、喋れました？

[坂野]

まず、オーナーの人に・・・

[野村]

違う。その話はね、オーナーじゃないでしょと。前回のときにね、オーナーに言ったって、オーナーは言わないことだってあるわけですよ。オーナーじゃなくて、そこを占有しているのは、賃貸人（賃借人の間違い）の話だからね、「賃貸人（賃借人の間違い）に直接言ってくださいね」って話を、僕は、前回、会って、しましたよね？

[坂野]

はい。

[野村]

会ってね。あなたは直接言ってないんですか？

[坂野]

まず、その・・・

[野村]

イエス・オア・ノーですよ。

[坂野]

ノーです。

[野村]

なぜ？

[坂野]

まず・・・その・・・所有者のところに連絡を取って・・・その、所有者が責任持って連絡する・・・

[野村]

違う。僕はね、前回ね、「それじゃ伝わりませんよ」と、お金もらってるんだから。知らんぷりしてれば、何もしで終わることだって、よくある話だからね。だから、蘭越町に「あなた方が直接言ってください」って、僕は言いましたよね？

「直接テナントに言ってくれ」と。なぜやらなかったんですか？

[坂野]

野村さんは、そこにいる人、知ってるんですか？

[野村]

そんなこと聞いていない。質問に答えろよ。なぜ、あなたはやらなかったんですか？

[坂野]

通じましたかっていうのは？

[野村]

通ってれば、分かるさ。どんな人が使ってるのか。何でやらなかったんですか？

[坂野]

責任を持って話を通すと・・・

[野村]

違う。僕は、あなたと約束したんです。あなたは、それを同意したんです。「分かりました」と、「直接言います」と、なぜやらなかったんですか？

[坂野]

オーナー、その所有者の方と・・・

[野村]

その話は、もう前回終わってる。

[坂野]

その後に、オーナーの・・・

[野村]

その後、言ったとしても、何も改善されないでしょう。まともに言ってないんですよ。なんで、あなたこれまで何ヶ月も言わないで放置したんですか？そういう状況になるのが見えてるから、「直接言ってください」って、僕は頼みましたよね。

[坂野]

直接言ってくださいっていう・・・

[野村]

頼みましたよね？なんであなたは、今まで何ヶ月間も放置したんですか？

[坂野]

直接は言ってないですけども、放置したっていうのは・・・

[野村]

いや放置してるでしょう？「オーナーに言った」というのは、前回聞いている。前回の段階で、

[坂野]

その後、お話ししています。

[野村]

だから、何度も言ってる通り、オーナーは、お金をもらえる立場だから。駐車場を我が物であるかのように使わせてあげられれば。多分そういう前提で。「使ってもいいよ」みたいに、暗に言ってるよ。言わないさ、オーナーに言ったって。それが見えてるから、町に直接言ってるのに。あなたもそれに同意していながら、なんで何ヶ月間も、直接やらないんですか？

[坂野]

オーナーの言葉を信じてですね・・・

[野村]

何度も言ってる通り、あなたと副町長だけなんだよ、あれを擁護するのは。弁護士も「おかしいぞ」と、「狂言だぞ」と、僕と同じこと言ってるよ。

[坂野]

弁護士って誰ですか？

[野村]

この前も言ったでしょ？「記録に残ってます」と。ここのやり取りをね、もう何年も前にやってるときに、弁護士に助言を求めて、その弁護士が、「あなた方が騙されてるぞ」と、「狂言だぞ」と。「『撤去したら、お金がかかるけど、俺に任せとけ』と、『俺が言ったら、ただで済むから』と言って、取られてるぞ」というようなことを、記録に残ってるよ。僕はそのことを言ってるでしょ？

他にもね。金沢さんだったかな。今、下に行ってる人も二言返事で言いましたよね？町から月々**5000**円位でしたっけね、年間5、6万程度の家賃で、年間**250**万もの家賃を稼ぐことに対して、町民の理解を得られませんよと。

これが自然なものですよ、あなたと副町長だけなんだよ、今の所有者の立場を擁護してるのは。あなたと副町長だけなんだよ。「なんかあんのかな？」と思って当た

り前だよ。擁護してるというのは、あれはどう見てもね、弁護士が言う通りだよ。弁護士が、僕が見てもそうだよ。この記録とか、銭金の記録の残り方、今の所有者が言ってる内容から見ても、おかしいことがいっぱいあるよ。もう過去のことは、しょうがないけども。あなたに言いましたよね？（月額賃料は）大体20万が妥当なところで、（年間で）240万。5年で十分に元が取れる、あれ投資しているのは500万ですよ。内装を自分仕様に置き換えるのにね。これ、憶測ですよ。ただでもらって、「俺にくれれば。タダでいいから」と、ただでもらってね、いくらで買ったと言ってるお金は、そのまんま、倉庫、店舗の状態から、2階を増築して、水周りを入れる費用は大体300万ですよ。

その程度の費用は負担してるでしょう。それを「売買金額だ」と言い張ってね。だから、契約書がないんですよ。そんな300万とか500万の投資に対して、1年間でね、1年間で240万の利益が上がるんだったら、もう2年3年で十分ペイしてるから、「もう返してもらったらどうですか？」ということ言ってるわけですよ。

公園の中で、私的に利益をあげる正当な理由は何もない。でも、取得の背景には、怪しいものが記録として残っている。正当性はどこにもないよ。でも、あなたは。

「それはできない」「できない」一点張りで、問題視しなかったでしょう？

金沢さんは問題したよ。金沢さん、誰でしたっけ？あの人。直接やり取りした、記録にも名前がある人。会って話をしてる人、体格のいい若い人。同席しましたよね？僕と、下で。名前思い出せないですか？下で。

[坂野]

米田。

[野村]

米田さん。米田さんも、記録の中で言ってるよ。「それを認めてしまうと、公有地で賃貸ビジネスを認めることになるから、それはできません」というようなこと言ってるよ。あれはまともだよ。

[野村]

でも、あなたは「できない」と言ってるんだよ。その状態を容認してるんだよ、あなたと副町長だけなんだよ。信じられないよ僕は。でもそこはちょっと時間かかるから、置いといて、駐車場については、全くその対象外だからね。

それについてオーナーに言ったって（テナントに）言うわけないさ。お金もらってるんだから。黙ってれば、自分のものに見えてしまうものをね。だから、自分から言わないよ。だからあなたに求めたんでしょう？そもそも住居として使ってて何何も公益性がないわけですよ。

いい場所だから言ってるんですよ。あなた方はことごとく、町の観光のために重要な施設を、ただ同然で売ってるけども、ただ同然で。呆れるほどにね。あそこはちゃんとやれば、人の集まる場所なんですよ。「もう十分利益を上げてるから、返してもらったらどうですか？」って話をしてるでしょう。テナントとして、公益性があればまだいいよ。本当に公益性があるんだったら。でもね、20万を取ろうとしたら、公益のある事業なんかできやしないよ。昆布の駐車場、あそこいくら貸してるんすか？月額。知らない？あなたは。知らない？本当に？公益事業でやろうと思ったら、高い家賃を取らないのは当たり前ですよ、公益なんだから。でも20万を取ろうと思ったら、公益的なものはやらないよ、ゼニ儲けになるよ。なんでそれを町が許すのか、僕は信じられないよ。

町がと言うか、あなたと副町長は。当然、町長も絡んでるでしょう。町長と副町長とあなただけが、あれを容認するのか、僕は全く理解できないよ。だから、建物はさておき、駐車場を問題視して。ぼく言ってるのは、理由があるから。一個人、特定の人間がコンテナ、まだいいよトレーラーだったら移動できるから、コンテナ置いてね。

乗用車だって問題だよ。公園なんだから、あそこは。公園の駐車場に私的に24時間ずっと占有し続ける。乗用車どころか、すぐに移動できないトレーラー、それどころか、コンテナまで置いて、我が物顔でやってるよ。何でそれやらないんだよ。

[渡辺]

それはちょっとオーナーにもう 1 回さ・・・

[野村]

なんでだよ？あなた分かってないでしょう？止めて、何も分かってないくせに口出しするのは。坂野さんに、ぼくは頼んだんですよ、何ヶ月前に。何でやらなかったんだよ。やる必要ないんですか？

[坂野]

あります。

[野村]

あるでしょう。いつやるんですか？。

[坂野]

また連絡取ります。

[野村]

連絡ください。雪が降る前に。雪が降らなかったら、ぼくは 11 月 1 日に行くよ。テナントのところに行ってね、「蘭越町にも言ってある」と、「公園だから、撤去してくれ」と、「継続して利用するのは止めてくれ」と、「文句があったら坂野さんに言え」と。あなたがやらないんだったら、文書をもって、ぼくが、行ってきますよ。だから、それまでに言ってくれ。お願いします。